

平成 23 年 3 月 19 日

日本笑い学会会員の皆様へ
日本笑い学会・関東支部会員の皆様へ

日本笑い学会・関東支部
支部長 佐野百合子
運営委員一同

去る 3 月 11 日(金)に東北・関東地方を襲った世界最大規模の東日本大地震・大津波は、各地に甚大な被害をもたらしました。

被災された方々へ、衷心よりお見舞いを申し上げます。また、亡くなられた方には謹んでお悔やみを申し上げご冥福をお祈り申し上げます。

発生から一週間を過ぎた現在でも余震が続いており、電力、医薬品を始め生活物資の不足する中、寒さに震えながらの耐乏生活を余儀なくされております。復旧復興にはさらなる時間時日を要するものと思われま。

加えて、原子力発電所の事故は全世界が注目する中、必死の対策が続けられております。何とか収束して欲しいと強く願うものです。

電力不足の事態で、停電・電車の運行停止等、首都圏にも影響が重なってきました。また一部生活用品に品薄の状態が起こったりしています。

被災地の皆様のご労苦に比べればたいしたことは無く、これらに耐えて一刻も早い救援が被災地や避難地に届けられるように整然と行動したいと思ひます。

日本笑い学会会員、同 関東支部の会員の皆様の中にもご家族、ご友人の方が、或いはご本人が被災されているやも知れませ。そうした状況にあります場合は、まずお見舞いを申し上げます。この状況下において、日本笑い学会・関東支部の皆様からも、何かをしたいとのお申し出を頂いておひます。

先日(14日)開催された日本笑い学会理事会では、機関紙及びホームページにお見舞い文を掲載し、支部や会員の状況を把握した上で、更なる対応をすることを決めておひます。

先ずはお見舞いの言葉だけとなりましたが、今後本部との連携を図りながら、具体的な支援行動を取れるように取り組みたいと存じます。ご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。

日本笑い学会 関東支部
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1 - 1
東京ボランティアセンター メールボックス NO. 54
E-mail : un_ei-01@warai-kanto-0808.org
ホームページ : <http://www.warai-kanto-0808.org>